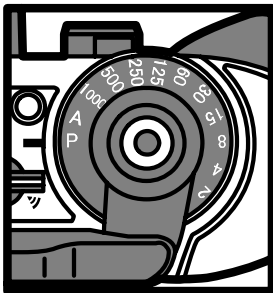
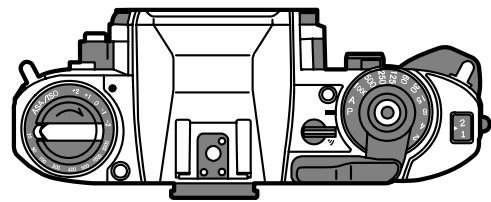
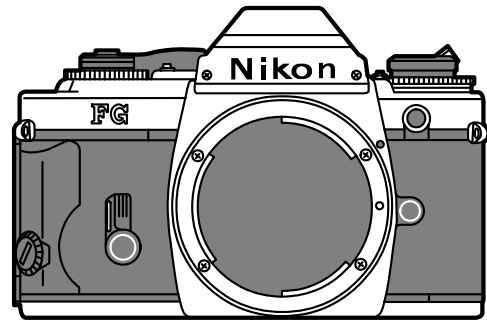


Nikon FG

スペック	
シャッター	1/1000～1秒・B（電子シャッター）
X接点	1/90秒
測光方式	中央部重点測光
撮影モード	絞り優先 / プログラム / マニュアル
サイズ	136.0 × 87.5 × 54.0mm
重量	490g
発売年	1982年
新品価格	- 絶版 -
中古相場	25,000前後
備考	モータードライブ装着可。 露出計はアナログメータ式。 ファインダー視野率92% ファインダー倍率0.84倍



1980年に発売されたE Mの後継機種と思われる。E Mでは絞り優先A Eのみだったが、F GではプログラムA Eとマニュアルが追加追加された。

F 3に慣れた手で持ってみると、さすがに小さく軽い。中折れ式の巻き上げレバーの動作感もまあまあだ。このサイズだとレンズもそれに合わせたものを使いたくなる。我輩は、銀座の「レモン社」で購入した逆輸入の50mmF1.8（新品）を装着しているが、この組み合わせはなかなか良い（ただ、逆輸入の50mmF1.8は金属ボディではなくプラスチックだが）。

引き締まったボディはなかなかのものだが、2つの点が気になる。

1つは、シャッターの切れの悪さだ。ちょっとしたタイムラグがある。カメラ雑誌には「F Gは瞬間絞り込み測光のプログラムなのでタイムラグがある」と書いてあるが、電池を抜いてメカニカルのX接点でシャッターを切っても同じくらいのタイムラグを感じる。

もう1つは、シャッターダイヤルのクリック間隔が広すぎるということだ。クリックストップ自体は強いのだが、そのクリックとクリックの間隔がやけにまどろっこしい。これは気分の問題なので実害は無いのだが・・・。

コンパクトなボディとプログラムA Eでさりげなく撮り歩き、しかもいざという時にはマニュアル露出ができるという安心感。このメリットは、2つの気になる点を忘れさせるに充分だろうか？ それは個人の価値判断が決めればいいことだ。少なくとも我輩の手元には、1台のF Gがある。